

高校生、真夏の一大冒険 自衛隊インターンシップ（職場体験）に参加



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）長岡出張所（所長 1陸尉 中土井 厚志）は8月4日（水）及び5日（木）、高田駐屯地においてインターンシップ（職場体験）を実施しました。

インターンシップに参加した生徒は、4日午前には自衛隊の概要や2日間のプログラム等の基本的な説明を受けました。まず、駐屯地内の施設を見学、午後には隊員の基礎動作である基本教練の体験や、生活面で欠かせないプレス（アイロン掛け）、靴磨きなどを体験しました。

翌5日、午前中は救急法及び結索法を体験、救急法体験ではAEDの使用方法や心肺蘇生法を体験し、結索法では自衛隊で使用する色々な結びの技術（ロープワーク）を学びました。午後は実際に宿営時に使用している天幕（テント）の展張を体験し、更に部隊の保有している装備品展示を見学して、職場体験は終了しました。

参加した生徒は2日間、慣れない訓練や駐屯地内の生活に戸惑いながらも真剣に取り組み、修了証書授与時には達成感に満ち溢れた表情をしていた。



生徒からは「自衛隊は厳しい所だと思っていたがイメージが変わった」「ロープワークが難しかったが丁寧に教えてもらいできるようになった」等の感想を話し、2名にとって有意義な職場体験となりました。

新潟地本は今後もインターンシップを通じて自衛隊への理解を深めてもらうと同時に一人でも多くの高校生に興味を持ってもらい、隊員の募集に繋げていきます。

